

平成 30 年度

施設評価調書

施設の名称……下田幼稚園

所管担当課……教育委員会学校教育課

平成 30 年 7 月

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	----------	-----------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培う。					
運 営 事 業 名	H28 年値	H29 年目標値	H29 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
幼稚園管理運営事業	48 人	105 人	34 人	70.8%	32.4%	D
設置目的に対する総合評価						
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	・ 目標値＝定員 ・ 実績値＝入園者数 ◎目標達成率：5段階評価の基準を A 90%以上、B 70%以上、C 50%以上、D 30%以上、E 10%以上とする。					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので、幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育を目的とする場である。近年は少子化だけでなく働く親が増えている中、保育所利用を希望する家庭が多いため、幼稚園希望者が少なくなっている状況がある。
上 記 の 原 因	少子化の進行、雇用や生活スタイルの多様化による保育ニーズの変化、財政の逼迫と施設の老朽化によるもの。

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	施設の規模や状況、立地条件等から考察すると、再編整備後も拠点施設としての役割を担う施設として位置づけていくことが適当だと考えている。施設修繕などを行い、今後も継続利用していくよう整備が必要。		
H29 年度運営 事業と目標値	運 営 事 業 名	H29 年度目標値	備 考
	幼稚園管理運営事業	105 人	

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運 営 事 業 名	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
総合評価	C	C	D	D
幼稚園管理運営事業	61 人	56 人	48 人	34 人
	C	C	D	D

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	----------	-----------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H28 年度値	H29 年度目標値	H29 年度実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	48 人	105 人	34 人	70.8%	32.4%
	B 年間経費 (除く収入)	41,410,504 円	43,886,000 円	43,353,542 円	104.7%	98.8%
	B/A	862,719 円	417,962 円	1,275,104 円	147.8%	32.8%
②光熱水費		1,031,625 円	1,116,000 円	1,023,216 円	99.2%	91.7%
③消耗品費		318,700 円	330,000 円	329,798 円	103.5%	99.9%
効率性指標の考え方等		・A＝年度末時点での園児数 ・目標値＝定員 ・実績値＝入園者数 ◎目標達成率：5段階評価の基準をA90%以上、B70%以上、C50%以上、D30%以上、E10%以上とする。				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	各クラスに12～19名の園児が在籍しており、幼児教育を行ううえで最も適正な人数で教育が実施されている。
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	下田幼稚園に関しては、今後も市内における幼稚園教育の拠点施設としての役割を担う施設として位置づけていくことが妥当だと考えるが、今後統廃合を進めることで定員の充足率が上がると考える。		
H29 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	507,514	
	②光熱水費	1,116,000	
	③消耗品費	330,000	

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
①利用単位当たり 経費	目標値	105 人	105 人	105 人	105 人
	A実績値	61 人	56 人	48 人	34 人
	B実績値	45,248,460 円	45,264,472 円	41,410,504 円	43,353,542 円
	B/A	741,778 円	808,295 円	862,719 円	1,275,104 円
	対前年比	51.9%	91.7%	93.7%	104.7%
	目標達成率	66.7%	62.6%	58.8%	32.8%
②光熱水費	目標値	1,032,000 円	1,061,000 円	1,061,000 円	1,116,000 円
	実績値	1,073,460 円	978,851 円	1,031,625 円	1,023,216 円
	対前年比	106.8%	91.2%	94.9%	99.2%
	目標達成率	96.1%	108.4%	102.8%	91.7%
③消耗品費	目標値	357,000 円	350,000 円	315,000 円	330,000 円
	実績値	353,000 円	350,000 円	318,700 円	329,798 円
	対前年比	101.9%	102.0%	109.8%	103.5%
	目標達成率	101.1%	100.0%	98.8%	99.9%

平成 30 年度

施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園
----------	-----------

番号	91
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H27 年度	H28 年度	H29 年度
	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部 分の年間経費	円	45,264,472	41,410,504	43,353,542
	②受益者負担 額	施設の本来の目的によ る使用料等の年間総額	円	5,224,860	3,900,830	1,032,280
	③受益者負担 比率	②÷①	%	11.5	9.4	8.9
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金 を徴収したと仮定した 場合の受益者負担額	円	5,224,860	3,900,830	1,032,280
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	11.5	9.4	8.9

運営に掛 かる税負 担 (市民負担)	年度		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		23,444	22,938	22,477	22,092
	人口 1 人あ たり（円/ 人）	運営経費（収入除 く）	1,930.7	1805.3	1928.8	1962.4
		年間総経費	1,926.3	1858.4	1928.8	1915.7

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	----------	-----------	----	----

利用者満足度調査

実施の有 無	☒ 有 ☐ 無		調査の方法	アンケート	H29 年度調査 数	35 件																														
○貸館利用者向け 1 調査結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設問</th> <th>回答種類</th> <th>H27 年度 回答数</th> <th>H28 年度 回答数</th> <th>H29 年度 回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園は教育目標、重点 目標の達成に向けて 努力していますか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 51 B 4 C 0 D 0</td> <td>A 39 B 4 C 0 D 0</td> <td>A 31 B 4 C 0 D 0</td> </tr> <tr> <td>お子さんは、登園を 楽しみにし、楽しい 園生活を送っていま すか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 52 B 3 C 0 D 0</td> <td>A 41 B 2 C 0 D 0</td> <td>A 34 B 1 C 0 D 0</td> </tr> <tr> <td>園は遊びを充実させ たり環境を整えたり するための指導の工 夫改善を行っていますか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 54 B 1 C 0 D 0</td> <td>A 39 B 4 C 0 D 0</td> <td>A 29 B 5 C 0 D 0</td> </tr> <tr> <td>園は家庭への連絡、 たよりの発信等を通 して、家庭との連携 を円滑に図っていま すか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 50 B 4 C 1 D 0</td> <td>A 40 B 3 C 0 D 0</td> <td>A 33 B 2 C 0 D 0</td> </tr> <tr> <td>お子さんは行事を楽 しみ、また行事によ って子どもの生活が 豊かなものになって いますか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>—</td> <td>A 40 B 3 C 0 D 0</td> <td>A 22 B 12 C 0 D 0</td> </tr> </tbody> </table> ※今年度寄せられたクレーム等 ・園児数の減少によりコミュニケーション能力育成という点では小さすぎる集団になってしまっている。（小規模園だからこその良さが感じられるという意見もあり） 2 調査結果から読み取れること ・ほぼ全員がA、それ以外がBと答えており、保護者の満足度が高いことを示している。 3 次年度以降への改善点 ・保護者からの意見を真摯に受けとめ、改善すべきことについて全職員で検討し、子どもの成長を手助けし、保護者から信頼される園運営に努力していく。							設問	回答種類	H27 年度 回答数	H28 年度 回答数	H29 年度 回答数	園は教育目標、重点 目標の達成に向けて 努力していますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 51 B 4 C 0 D 0	A 39 B 4 C 0 D 0	A 31 B 4 C 0 D 0	お子さんは、登園を 楽しみにし、楽しい 園生活を送っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 52 B 3 C 0 D 0	A 41 B 2 C 0 D 0	A 34 B 1 C 0 D 0	園は遊びを充実させ たり環境を整えたり するための指導の工 夫改善を行っていますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 54 B 1 C 0 D 0	A 39 B 4 C 0 D 0	A 29 B 5 C 0 D 0	園は家庭への連絡、 たよりの発信等を通 して、家庭との連携 を円滑に図っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 50 B 4 C 1 D 0	A 40 B 3 C 0 D 0	A 33 B 2 C 0 D 0	お子さんは行事を楽 しみ、また行事によ って子どもの生活が 豊かなものになって いますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	—	A 40 B 3 C 0 D 0	A 22 B 12 C 0 D 0
設問	回答種類	H27 年度 回答数	H28 年度 回答数	H29 年度 回答数																																
園は教育目標、重点 目標の達成に向けて 努力していますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 51 B 4 C 0 D 0	A 39 B 4 C 0 D 0	A 31 B 4 C 0 D 0																																
お子さんは、登園を 楽しみにし、楽しい 園生活を送っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 52 B 3 C 0 D 0	A 41 B 2 C 0 D 0	A 34 B 1 C 0 D 0																																
園は遊びを充実させ たり環境を整えたり するための指導の工 夫改善を行っていますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 54 B 1 C 0 D 0	A 39 B 4 C 0 D 0	A 29 B 5 C 0 D 0																																
園は家庭への連絡、 たよりの発信等を通 して、家庭との連携 を円滑に図っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 50 B 4 C 1 D 0	A 40 B 3 C 0 D 0	A 33 B 2 C 0 D 0																																
お子さんは行事を楽 しみ、また行事によ って子どもの生活が 豊かなものになって いますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	—	A 40 B 3 C 0 D 0	A 22 B 12 C 0 D 0																																

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
H29	照明器具		H29 修繕	
〃	エアコン		〃	
〃	鍵取換		〃	
〃	消防用設備		〃	
※今後想定される維持管理事項 園庭遊具				

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	----------	-----------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	下田幼稚園に関しては、今後も市内における幼稚園教育の拠点施設としての役割を担う施設として位置づけていくことが妥当だと考える。 しかし、少子化の影響や保育園を希望する保護者の増加により在園児数は減少傾向にあり、今後保育所・認定こども園との統廃合やこども園化等の検討をする必要があると思われる。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	施設の設置目的、民間事業者の未参入という下田市の現状を考えると困難であろうが、適正な運営能力を持つ民間事業者による運営は可能である。 運営母体となる民間事業者がない本市の状況下では、行政が主体となって運営にあたらなければならない。
施設の管理運営と経費の妥当性	最小限の経費で維持管理を行うための効率化に努めている。
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	保育料は、平成 27 年 4 月から施行された子ども子育て支援新制度施行において改正が行われた。所得や世帯の状況その他の事情を勘案し、国の定める水準を限度として「下田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例」により従前の料金を維持する形で利用者負担額を定めている。また、平成 28 年度に保育料の改定を行い、保育園と同じく料金の階層化を実施した。
その他の管理運営上の課題	幼稚園教育の拠点施設として存続していく施設になるため、認定こども園と同様のサービスが提供できるようにする必要がある。また施設についても存続を考えた中での修繕や整備が必要であり、加えて安全対策も検討していく必要がある。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	

平成 29 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	----------	-----------	----	----

施 設 の 概 要

1 施設名 (愛称名)	下田市立下田幼稚園		2 担当課 担当係	学校教育課 こども育成係				
3 所在地	下田市一丁目 17 番 2 号		4 設置年月	大正 14 年 月 日				
5 総合計画の 位置付け	I							
	基 本 目 標		未来の人づくり、幼児教育					
	基本目標を実現 するための施策		項目 幼稚園・保育所の一元化、幼児 教育の充実		内容 組織の構築、新園の整備、教 育活動の弾力化、幼稚園整備			
6 設置目的	幼稚園教育要領に基づき展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成し、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を養う。							
7 設置根拠	下田市立幼稚園条例							
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 4,294 m ² 建築年月 平成 5 年 2 月 建築面積 (鉄骨一部木造) 647.85 m ²						
		園舎 (教室、遊戯室、職員室) 運動場						
	実 施 事 業 の 概 要	幼稚園における幼児教育 (30.4.1) 3 歳児 12 人 4 歳児 10 人 5 歳児 11 人 合計 33 人						
	料 金 体 系	料 金 区 分	保育料 第 1 階層から第 6 階層別に徴収基準額設定 給食費 月額 3,800 円 (給食費会計) (H26 料金改定)					
		主 な 料 金	種別	単位	昼	夜	昼夜	備考
	減 免 内 容	(保育料の減免) 第 3 条 市長は、災害その他の理由により特に必要があると認めたときは、利用者負担額を減額し、又は免除することができる。						
利用料金制度		☐ 有 ☒ 無						
施 設 運 営 方 法	☒ 直接運営							
	☐ 指定管理者制度 →		指定管理者					
	☐ 一部委託 →		委託内容					
直接従事職員	(30.4.1 現在) 正職員 5 名 臨時職員 1 名 合計 6 名							
9 市 内 の 類似施設	下田市所有	下田認定こども園						
	民間所有							

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳			平成 29 年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 34 年 (償却満了 H5.2～H39.1)						
	土地取得費			土地残高									
	建物取得費		174,089,000 円	建物減価償却後残高		51,202,664 円							
	財源内訳			年間償却額算定式									
	国・県支出金			174,089,000 円÷34 年=5,120,264 円									
	市債			市債残高		0							
	一般財源												
	寄附金等												
物品(* 万円以上)			物品減価償却後残高										
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分			H27 年度決算		H28 年度決算		H29 年度決算		H30 年度予算			
	収入	幼稚園使用料		2,564,750		1,698,550		1,032,280		1,056,000			
		幼稚園給食費		2,640,910		2,178,280		1,661,008		1,740,200			
		預かり保育納付金		19,200		24,000		6,200		6,000			
	収 入 合 計			5,224,860		3,900,830		2,699,488		2,802,200			
	支出	1 節	報酬		166,700		163,200		158,200		160,000		
		2 節	給料		22,198,200		19,894,200		19,874,400		18,430,000		
		3 節	職員手当等		8,969,721		7,668,889		7,654,328		8,093,000		
		4 節	共済費		6,206,501		5,242,337		5,188,302		5,159,000		
		7 節	賃金		1,193,430		1,181,670		1,214,012		1,649,000		
		8 節	報償費		0		0		7,150		12,000		
		9 節	旅費		169,168		321,156		245,425		376,000		
		11 節	需用費		4,654,489		5,297,626		5,982,855		3,474,000		
		12 節	役務費		209,935		206,276		205,767		219,000		
		13 節	委託料		468,170		465,971		824,411		558,000		
		14 節	使用料及び賃借料		822,689		822,428		808,671		829,000		
		18 節	備品購入費		47,520		20,196		1,062,936		40,000		
		19 節	負担金補助及び交付金		157,929		126,555		127,085		138,000		
		22 節	補償、補填及び賠償金		0		0		0		1,000		
		支出合計			45,264,472		41,410,504		43,353,542		39,138,000		
		減価償却費			5,120,264		5,120,264		5,120,264		5,120,264		
	市債利子			0		0		0		0			
	職員人件費												
	下田市負担年間総経費			45,159,876		42,629,938		45,774,318		41,456,064			
	備考												
	12 施設利用状況等の推移	利用状況	年 度	H27.5.1		H28.5.1		H29.5.1		H30.5.1			
			クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数			
3 歳児			1	20	1	12	1	7	1	12			
4 歳児			1	19	1	17	1	11	1	10			
5 歳児			1	18	1	19	1	13	1	11			
合 計			3	57	3	48	3	31	3	33			
参考：利用単位 当たり市負担額			792,279 円/人		888,124 円/人		1,537,831 円/人		1,256,244 円/人				
算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数													
休園日		土曜日・日曜日、祝日、夏季・冬季・春季休暇											
教 育 時 間		4 時間											

(参考資料)